



トルコ副首相、太田国土交通大臣に地震計の説明をする当社社員

日本・トルコ防災協働技術フェアに出展

5月4日、トルコ・アンカラにて開催された、国土交通省、日本防災プラットフォーム(JBP)、トルコ国首相府災害緊急事態対策庁(AFAD)主催の日本・トルコ防災協働技術フェアに出展しました。

当社は地震計を含めた防災システムのプレゼンテーションを行い、あわせて、海外向け強震計や制御用地震計の展示も行いました。他社のブースはパソコンやプロジェクターでの展示が多いなか、実物の地震計を展示したこともあり見学者も多く訪れ、また本フェアの主賓である太田国土交通大臣、トルコ副首相や首相府災害緊急事態対策庁(AFAD)長官も当社ブースを訪れました。

当社の防災技術のPRを目的に臨んだこの技術フェアで、トルコ副首相、AFAD長官、さらには太田大臣に当社の技術・製品を説明できたことは、大きな収穫となりました。今後もこのような機会を捉え、防災機器の海外展開を推進していきます。

(担当: 営業統括部 営業推進グループ)



当社展示ブースにて

第64回利根川水系連合・総合水防演習の展示コーナーに出展

5月16日、第64回利根川水系連合・総合水防演習(国土交通省、関東1都6県、伊勢崎市主催)が伊勢崎市の利根川河川敷で開催されました。

演習会場には、消防や自衛隊、警察など関係21団体約1,000人が集結し、大規模な水防訓練、救出訓練等が行われました。そのほか、建設機械の操作や降雨・地震などの体験コーナー、水防新工法などの広報展示や地元協力者による物産展、自衛隊による炊き出し、さらに防災に関連した企業、機関の展示など盛りだくさんの構成となっていました。当社はPOTEKAをはじめ、QCASTや制御用地震計などを出展し、来場者へ当社製品を興味深く見学いただきました。

万が一の水害に対し、認識を新たにする絶好の機会でもあり、当日はあいにくの天気にもかかわらず、会場には約9,000人が訪れました。

今後もこのような機会を活かして、地域の防災・減災活動に貢献してまいります。

(担当: 経営企画室)



水没車からの救出訓練の様子



観測実験用に設置されたPOTEKA

GPM/DPRの地上検証の集中観測にPOTEKAが使用されました

2014年2月28日に打ち上げられた全球降水観測計画(GPM)主衛星に搭載されたDPR(二周波降水レーダ)による降水量算出アルゴリズムを検証するための観測実験に、POTEKAが使用されました。

小型である点と性能が評価され、温度・湿度の観測用機材として採用されました。当社は、さまざまな衛星搭載機器の開発も行っていますが、この事例のような気象観測機器による協力を含めて、宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当: 気象・管制事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。